

地域の力で子どもをはぐくむ 仕組みづくり

学校と地域をつなぐ 学校支援コーディネーターの配置



中学生と学校支援ボランティアによる花壇整備



明海南小、明海中の屋上花壇は校章を表しています



平成23年度に学校支援コーディネーターの配置を開始し、現在では、すべての市立小・中学校において学校支援コーディネーターが活躍しています。

学校支援コーディネーターは、学校のニーズを把握し、ボランティアと連絡調整を行い、地域と学校をつなぐ役割を担います。キャリア教育などの学習支援を中学校区で連携して実施するなど、活動の幅をさらに広げています。



職業体験学習（見明川中）



学習の様子

未来塾で中学生の学習をサポート

学習習慣の定着や学力の向上を図るため、市内の全中学校の生徒を対象に青少年自立支援未来塾を実施しています。今年度も公民館等を会場に、地域の教職経験者や大学生が学習支援員となり、生徒一人一人のつまづきや課題に応じた学習支援を行っていきます。

時間 18:00～20:00 **会場** 市内社会教育施設（公民館等）

対象 中学1～3年生 **実施回数** 20回程度（9月～3月）

※今年度の実施に際し、一部変更になる場合があります



安心して過ごせる放課後の居場所づくり ～放課後うらっこクラブ～

放課後の児童の居場所づくりとして、遊びや学習等を通して異年齢の子ども達と一緒に活動できるよう「児童育成クラブ」と「放課後異年齢児交流促進事業」を連携させ、それぞれの事業の特色をいかした一体的な運営事業を市内のすべての小学校で今年度中に実施を進めていきます。



「見てふれて感じて」浦安市郷土博物館の体験活動



郷土博物館では、昔、浦安で当たり前に行われていた貝むきや海苔すきを、毎年、小学生が体験しています。

もやいの会の方の技を実際に見て、やってみることで「昔の人はすごい」など様々な思いを抱いています。また、昔の浦安のおやつ「ぼったら」を作って食べる体験は、園児にとっても人気です。



市内の4年生全員が海苔すきを体験



貝むき体験

浦安の貝むき

明治初期には貝の加工業者によってむき身が日本橋の魚市場へ出荷されていました。貝をむくのは女性の仕事で、かつての浦安では女の子は小さい時から貝むきの練習をしたといわれています。



高州公民館 2/16

公民館でも海苔すき体験や海苔まきづくりを実施！

海苔すきの練習

海苔まきづくり



ぼったら体験

ぼったら

小さな子どもから大人まで、浦安で親しまれていた「ぼったら」は、もんじゃ焼きに似た食べ物で、昔は駄菓子屋でも食べることができました。

4月 キッズスポーツルーム 運動公園屋内水泳プール4階にオープン

キッズスポーツルームは、「遊び」を通じて、多様な「動き」の習得や運動能力の向上を目指す、幼児専用スポーツ施設です。ハイハイができるこどもから2歳児を対象としたマルチゾーンにはソフト遊具、3歳児から6歳児（未就学児）を対象としたサーキットゾーンには6種類の固定遊具を設置しています。

利用時間 午前10時～午後5時

1時間入替制（10分間の入替時間含む）

※午後1時～午後2時は遊具安全点検・衛生管理のため休場

休場日

▶ 第1・3水曜日（祝日の場合は開場）

▶ 年末年始（12月29日～1月4日）

対象

▶ マルチゾーン…ハイハイができるこども～2歳/先着7名

▶ サーキットゾーン…3歳～6歳（未就学児）/先着20名

※安全管理のため、保護者の方も一緒に入場してください

※保護者1名につき、こども2名まで入場できます

料金

▶ 市内在住者…220円/1時間 ▶ 市外在住者…330円/1時間

※保護者無料

受付方法

開始時間の30分前より、キッズスポーツルーム受付窓口にて先着順で受け付けします。



クライミング



サーキットゾーン